

# 総括

## 中央防災センター機能

委員 中央防災センターがこの度の東北地方太平洋沖地震に際して、どのような面で機能を発揮したか聞きたい。

危機管理担当参事 平成23年3月11日に発生した同地震は、マグニチュード9.0を記録した未曾有の巨大地震であり、本市でも震度5弱を記録した。市では同日午後3時に災害対策本部を設置、午後4時には中央防災センター災害対策本部室に災害対策本部以下本部員が参集し、収集した情報に基づき駅前帰宅困難者の対応など本市の災害対策を実施した。また、消防署及び警察署からの職員派遣により、消防、警察と緊密な連携を図り、市内の災害状況を把握し、的確な対応を行った。



▲災害対策本部会議

## 震災対策の課題

委員 今回の東北地方太平洋沖地震を経験したことで、本市の震災対策における課題などはあったか。

危機管理担当参事 鉄道の運行停止により、市内の各駅で駅前滞留者、帰宅困難者が多数出現した。今回は避難所に避難する市民がいなかったため帰宅困難者の受け入れには円滑な対応ができたが、同規模の地震が本市

を襲った場合、避難所に多数の市民が集まること予想されるので、帰宅困難者の受け入れは大きな課題と考える。このため、帰宅困難者に対し、新たな避難場所を確保し、保護する体制を整備するには鉄道事業者や駅周辺事業者と協力しながら取り組むことが重要と認識している。

## 財源補てんの状況

委員 市税等の減収により財源不足が見込まれると思うが、平成23年度予算における財源補てんの状況を聞きたい。

財政担当参事 23年度予算では、一般会計と公共用地特別会計で約33億円の財源不足が見込まれるため、基金と臨時財政対策債で補てんを行っている。基金については、21年度に基金計画の見直しを行い、毎年13億6000万円を取り崩すこととしている。また、臨時財政対策債については、23年度に18億円の借り入れを予定している。今後、財源不足が更に拡大していく危険性があるため、行財政改革を推進するなど、歳入に見合った歳出の実現を目指していきたい。

## 観光の総合的な取組

委員 本市の観光については、農業や文化施設、企業等と様々な連携を行い、総合的な取組をしていく必要があると思うが、市の考えは。

市民生活部長 工場見学ツアーやブルーベリーの摘取体験など参加型のツアーを関係団体等と連携しながら実施し、好評を得ている。

また、府中市観光振興プラン検討協議会では、テーマ性が高く四季を通じて魅力のある観光メニューの開発などの提言が出



▲ブルーベリーの摘取体験

## ごみ減量の今後の取組

委員 本市では、ごみ50%削減、リサイクル日本一を目指し、ごみの減量に取り組んできたがその達成状況と今後の具体的な取組を聞きたい。

ごみ改革推進本部長 平成15年度に策定した府中市環境基本計画では、「ごみ50%削減」、「リサイクル日本一の実現」、「すべての市民、事業者との協働による循環型社会の実現」を目指しており、その中で、13年度のごみ量を基本とした削減目標を50%としている。22年度現在で、約38%のごみ減量が達成されている状況である。

今後は、調布市と共同研究している生ごみの資源化施設の取組状況について、22年度中に中間報告を行う予定である。

## 郷土の森複合施設(仮称)

委員 新たに開設される郷土の森複合施設(仮称)の行政目的は。また、行政の目的外使用エリアの使い方について聞きたい。

市民生活部長 本施設は、府中

市水と緑のネットワーク拠点整備実施計画に基づき、訪れる人がくつろげる休憩の場や地元農産物などの買い物場、飲食の場を提供することにより、本市の観光産業等の魅力を発信する新たな観光拠点施設として、活力とにぎわいを創出していくことを目的としている。

また、飲食エリアは来館者に対する利便性向上のため飲食事業者の使用を許可し、物販エリアは多くの来訪者を迎えられるように府中観光協会が運営を行う予定である。

## 市債借入額の上限

委員 本市では、これまで市債について借入額の上限を30億円以内としていたが、現在は40億円から50億円としている。そこで、その変更理由を聞きたい。

財政担当参事 平成19年度に財政見直しを作成し、借入額の上限を、20年度から25年度の間は平均50億円、26年度以降は40億円としている。これは小・中学校の耐震化などの大規模事業を実施するに当たり、当時の公債費比率の目標である10%を維持できる範囲で計画を立て、見直したものである。

なお、22年12月に見直した行財政改革推進プランでは公債費比率の目標を8%以内としており、20年後においても目標数値を維持できる見込みである。

## ヒブワクチン等接種助成

委員 本市では、平成23年度に小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンを含む接種に対する助成を実施するが、同時接種による死亡事例が国内で発生したため、両ワクチンの接種自体を一時的に見合わせている。

そこで、市の対応と安全確認

に係る取組を聞きたい。

福祉保健部長 国の研究機関による会議では、「同時接種との明確な因果関係は認められないと考えられるが、更に入手可能な情報を次回の同会議までに収集する」としており、市として今後の同会議の結果を踏まえ、適切に対応していく。安全確認に係る取組については、国の研究機関による結果等の情報を収集し、25市と連携し調整する中で対応していきたい。

## 発掘文化財の保存管理

委員 本市には、武蔵国府跡御殿地区や武蔵府中熊野神社古墳など発掘された貴重な文化財や未発掘の文化財も数多くあると思うが、価値を損ねることなく保存管理を行っていく必要があると考える。

そこで、発掘文化財の保存等については、どのように管理・活用していくのか聞きたい。

文化スポーツ部長 市では、35年以上に渡って進めてきた発掘調査の成果をもとに、平成23年4月にふるさと府中歴史館を開館する予定である。同館では市民と協働して地元府中にしかない貴重な文化財を保存等するとともに、観光的活用も視野に入れた管理運営を行っていきたくと考えている。



▲ふるさと府中歴史館の展示

平成23年度各会計別予算額

区分	平成23年度	平成22年度	伸び率(%)	
一般会計	883億5000万円	889億5000万円	△ 0.7	
特別会計	国民健康保険	214億4625万6千円	209億3312万6千円	2.5
	後期高齢者医療	35億6444万円	34億9770万円	1.9
	老人保健医療	0円	465万円	—
	介護保険	118億2098万1千円	112億9188万6千円	4.7
	競走事業	1182億7895万8千円	1048億5718万5千円	12.8
	公共用地	30億7529万2千円	16億7609万円	83.5
	下水道事業	38億9856万4千円	38億5518万3千円	1.1
	火災共済事業	948万8千円	964万1千円	△ 1.6
	計	1620億9397万9千円	1461億2546万1千円	10.9
	合計	2504億4397万9千円	2350億7546万1千円	6.5

平成23年度一般会計予算款(科目)別内訳

